

園内研修でご活用ください

参考
資料

19の思考スキル

「幼児期の思考力を育み児童期につなぐための手引き」より

子どもは遊びを通して、どのように思考力を発揮しているのでしょうか。小・中学校の学習指導要領でも育成がめざされている19の思考スキルの枠組みを手がかりに、幼児期の具体的な活動例をご紹介します。子どもの育ちをとらえ、保育者のかかわり方を考えるヒントとしてご活用ください。

手引きは [幼児期の思考力を育み児童期につなぐための手引き](#)  で検索

19の思考スキルと幼児（5歳児）の活動例

No.	思考スキル	定義	5歳児の活動例
1	多面的にみる	多様な視点や観点にたって対象を見る	「友だちはどんな気持ちかな」と自分以外の視点から物事を考えたり、「わからないからAさんに聞いてこよう」「図鑑で調べよう」とさまざまな角度から情報を集めたりする。
2	変化をとらえる	視点を定めて前後の違いをとらえる	野菜や虫などの動植物の成長の様子を観察して「大きくなった」「色が変わった」と驚いたり、散歩などの屋外活動で季節の移り変わりを感じたりする。
3	順序立てる	視点に基づいて対象を並び替える	「お店屋さんごっここの準備をどんな順番ですといいかな」と、段取りや順番を考える。
4	比較する	対象の相違点、共通点を見つける	遊びや生活の中で、くだものの大さを比べたり、自分と友だちの身長を比べたり、物の数量の違いを比べたりする。
5	分類する	属性に従って複数のものまとめたりに分ける	遊びや生活の中で、石を集めて色や大きさで分けたり、野菜を夏と冬に収穫できるもので分けたりする。
6	変換する	表現の形式（文・図・絵など）を変える	絵本で読んだ内容を絵に描いたり、言葉による表現が難しいときに色や形で表現したり、目印や記号を用いて身近な人にわかりやすく伝えたり、自分で覚えたりする。
7	関係づける	学習事項同士のつながりを示す	遊びや生活の中で、「前にしたときには……」と経験の関係を見つけたり、紙を折って冊子を作りながら必要な枚数の関係を見つけたりする。
8	関連づける	学習事項と実体験・経験のつながりを示す	園での友だちとの「ごっこ遊び」のような場面で、家庭や地域で体験したことと結びつけて、遊びを発展させていく。

No.	思考スキル	定義	5歳児の活動例
9	理由づける	意見や判断の理由を示す	遊びをもっと楽しくするためのアイデアやルールを考え、友だちにわかってもらうためにその理由を言ったり、不思議な自然現象に出会ったときにはその理由を考えたりする。
10	見通す	自らの行為の影響を想定し、適切なものを選択する	積み木遊びの中で「もっと高く積むにはどうしたらいいかな」と考えて、小さい積み木を選んだり、積み方を工夫したりする。
11	抽象化する	事例からきまりや包括的な概念をつくる	色水に紙の下のほうを浸すと上まで染み込む様子や、異なる花の色水を混ぜたときの様子を観察し、水や紙、色の性質に気づく。
12	焦点化する	重点を定め、注目する対象を決める	リレーで勝つためには、「バトンを渡すときにはスピードが落ちないようにしよう」などと、ある観点に着目する。
13	評価する	視点や観点をもち根拠に基づいて対象への意見をもつ	自分の意見や感想をもち、友だちの意見を聞いて自分の考えを変えたり、自分の感覚的な考えを図鑑や本で確かめたりする。
14	構造化する	順序や筋道をもとに部分同士を関係づける	劇遊びで「けんかしていたけれど仲直りをして、最後に手をつなぐお話をいい」などのように構成を考える。
15	推論する	根拠にもとづいて先や結果を予想する	公園の湿った場所で虫を見ついたことを覚えていて、別の公園でも同じような虫を探そうとして、湿った場所に行く。
16	具体化する	学習事項に対応した具体例を示す	工作で「地震に強い家を作ろう」と思い、「そのためにはどうしたらいいかな」と考えて柱の太さを工夫する。
17	応用する	既習事項を用いて課題・問題を解決する	自分たちが育てた野菜をカラスから守るために、これまでの経験から、光るディスクを使ってカラスを追い払うことを思いつく。
18	広げてみる	物事についての意味やイメージ等を広げる	お絵描きや工作を通じて「こんなふうに作ったら面白そう」と、さまざまなアイデアをもったり、素材を用いたりしながら、自分の作りたいもののイメージを広げていく。
19	要約する	必要な情報に絞って情報を単純・簡単にする	集まりの会などの場面で、自分や相手にとって特に大切だと思うことに絞って、ひと言で話す。

- 19の思考スキルと定義は、泰山裕（2014）「思考力育成を目指した授業設計のための思考スキルの体系化と評価」に基づいています。
- 19の思考スキルのうち、「11. 抽象化する」「14. 構造化する」「15. 推論する」といったスキルは、小学校高学年での発揮が期待されていますが、この表ではそのような高度な思考スキルも含めて、保育の場面に当てはめて整理しています。
- 19の思考スキルと「5歳児の活動例」は、ベネッセ教育総合研究所（2024）「幼児期の思考力を育み児童期につなぐための手引き」より抜粋しています。
- 手引きの内容は、（株）ベネッセスタイルケアとの共同研究による研究の成果の一部をまとめたものです。